

栃木市における観光まちづくり戦略の分析

[自発展開型]

加藤 理（経済学部3年）

指導教員：長田 進

本論文では、栃木市の観光まちづくり政策をマーケティングの視点から分析し、観光まちづくりの成功に必要な条件を考えることを目的としている。この目的を解明するため、論文の構成は以下の通りとなっている。第2章ではマーケティングや地域ブランドに関して、また、栃木市のまちづくりに関してどのような研究がなされてきたかを検証、整理する。第3章では本論文を理解するための前提条件となる栃木市の現状について説明する。第4章では栃木市が抱える「蔵の街」、「小京都」、「小江戸」という3つのイメージの歴史的な側面について説明する。こちらも本論を理解するための前提条件である。第5章では栃木市の観光まちづくりの歴史について説明する。第6章では栃木市を4つの時点においてSWOT分析にかけ、その変化について検証、分析する。第7章では前章を踏まえ、栃木市のまちづくりの特徴、及び地域の活性化に必要なキーポイントを明らかにしていく。

栃木市は人口が減少傾向にあり、工業も経済も落ち込んでいる。こうした中、栃木市は再開発の邪魔であった蔵を活かし、「蔵の街」を中心とした観光まちづくりによって成功を収めつつある。平成21年度には、蔵の街に34万人もの観光客が訪れ、アド街ック天国やレディース4などのテレビ番組に取り上げられるなど、メディアの関心も高くなってきている。

栃木市の観光について、もう少し詳しくみていく。栃木市は「蔵の街」というイメージを中心に、「小京都」、「小江戸」というイメージも加えた3つのイメージのもと、市を売りだしている。これら3つのイメージにはそれぞれ歴史的根拠がある。

蔵の街のイメージは栃木市が商業の町だったことに由来する。栃木市は江戸時代、舟運と日光例幣使街道という2つの有利な条件のもとに商業都市として発展し、繁栄した。そんな栃木町を江戸末期、数

度の大火事が襲った。相次いだ大火事の中、蔵造りの建物はその防火性によって耐え抜いた。そこで、栃木町の商人たちは、高い経済力を有していたため、建築費用が高額な蔵を多く建造することができた。その蔵が現在も残っているため、蔵の街というイメージが形成された。

小京都のイメージは朝廷から毎年、日光東照宮に派遣されていた日光例幣使が関係している。栃木市には、日光例幣使の通り道である日光例幣使街道が通っており、その宿場町であった。日光例幣使が通るのは年に1度であったが、庶民の通行や商品の輸送にも盛んに利用され、栃木市に京都とのつながりをもたらした。そうしたつながりが小京都というイメージの歴史的根拠となっている。

小江戸のイメージは栃木市で盛んだった舟運と関係している。江戸幕府の誕生により、江戸という大消費都市が形成され、周辺地域からの商品の輸送量が急増した。栃木市の場合、舟運によって年貢米・大麻・薪炭・鍋山の石炭、木製品などを江戸に送り、逆に江戸からは、塩・日光御用荷物・干鰯・ろう・黒砂糖・油などが送られた。このように、小江戸のイメージは栃木市の舟運による江戸とのつながりが歴史的根拠となっている。

以上のような歴史的背景を持った栃木市が観光を始めたのは昭和53年のやすらぎ栃木路キャンペーンである。その後、昭和63年に栃木県の誇れるまちづくり事業に指定され、翌年の平成1年には栃木市まちづくり計画調査報告書が策定された。これらにより、蔵の街の整備が進み、本格的にまちづくりが始まりだした。平成2年には栃木市歴史的町並み景観形成要綱によって景観形成地区が指定され、栃木市歴史的町並み景観形成補助金交付要綱によって景観形成地区内の建物を修景する際の補助金が出るようになった。こうして、蔵の街の整備が進んでいった。

平成7年には山車会館がオープンした。山車会館では江戸風の山車が展示されている。平成8年には第一回小江戸サミットが開催された。小江戸サミットは川越・栃木・佐原（現香取市）の3市で毎年行われている。このように、小江戸を意識したまちづくりがこの時期に進んでいった。

こうした観光まちづくりの成果により、平成21年度に都市景観大賞「美しいまちなみ大賞」国土交通大臣賞を受賞した。栃木市の蔵の街は邪魔ものから、表彰される存在になったのである。

こうした栃木市の観光の経緯を踏まえ、栃木市を昭和53年（やすらぎ栃木路）、平成1年（誇れるまちづくり事業の翌年、栃木市まちづくり計画調査報告書）、平成8年（第一回小江戸サミット）、平成22年（現在）の4時点についてSWOT分析を行った。以上の結果から、栃木市の観光まちづくりの成功要因として、次の3点を挙げるができる。1つ目は弱みを強みと見るフレームの転換をすること、2つ目は市民から積極的な協力を得ること、3つ目はブランド化・イメージ戦略に成功することである。